

2007年3月22日

報道関係各位

国際生物学オリンピック日本委員会

## 「国際生物学オリンピック 2009」日本開催について

国際生物学オリンピック日本委員会(委員長:毛利秀雄東京大学名誉教授 以下「JBO」)では、2009年7月開催の第20回国際生物学オリンピック(IBO2009)を日本に招致することを決定しましたので、お知らせします。

IBO2009の詳細については、今後早急に検討してまいります。筑波研究学園都市に展開する国立、民間の研究所・機関等と連携して、筑波大学が大学を挙げて開催に協力していただけることになっています。JBOでは、JBOの事務局を務める日本科学技術振興財団(科学技術館)のほか、東京大学、東邦大学など、これまでこの活動に積極的に参加してきた大学を含めて、わが国の生物学に関わる多くの機関のご協力を得て、IBO2009の成功に向けて準備を進めてまいります。

また、日本開催を一過性のイベントとするのではなく、2010年に東京で開催される国際化学オリンピック(IChO2010)と連携・協力していくことにより、わが国の理科教育の革新を目指すムーブメントにしていきたいと考えております。

2009年は、進化論を提唱したチャールズ・ダーウィンの生誕200年、主著である「種の起源」の出版150年に当たる記念すべき年にあたっており、全世界においてさまざまな記念行事が計画されています。

なお、国際生物学オリンピック委員会(IBO本部)においては、日本の開催意向の表明を受けて、遅くとも2007年7月までにIBO2009日本開催を正式に決定する予定です。

また、本件については、本日開催された日本科学五輪推進委員会(江崎玲於奈会長)設立の会合において報告し、そのご賛同を得ております。

国際科学オリンピックは、1959年に開催された数学を最初に、その後、物理(1967年)、化学(1968年)、情報(1989年)と分野が広がっていきました。「国際生物学オリンピック IBO(International Biology Olympiad)」については、数学や物理等他の自然科学で得られた経験を基にして、ユネスコの要請により、1990年にチェコスロバキアのオルモウツにおいて、6カ国が参加して、第1回IBOが開催されました。その後、参加国、参加人数は増加しており、2005年中国(北京)においては50カ国198名、2006年アルゼンチン(リオクアルト)では、47カ国185名が参加しています。

IBOは、他の科学オリンピック分野と同様に、高校生を対象に生物学分野への関心を高め、参加し

た高校生の才能を伸ばし、生物学に関わる将来の科学者を育てるとともに、各国の生物学教育に関わる情報交換を推進することを目的としています。参加者には、生物学の理論問題(5時間)と実験問題(5時間)が課され、知識や実験の技能だけでなく生物学への興味・関心、独創性、創造性や忍耐が要求されます。こうしたコンテストとともに、参加者には、レセプション、見学会、講演会、エクスカーションなどのプログラムが用意されており、同世代の、同じ関心を持つ高校生が交歓することができるチャンスでもあります。

高校生とともに、引率参加するリーダー・オブザーバーの研究者・教員は、試験問題の討議と確定、その自国語への翻訳などの作業を行います。参加各国における生物学教育の実情について突っ込んだ意見交換の機会となります。

わが国においては、その参加が遅れていましたが、2005年2月に、任意団体としてJBOが設立されました。大学の研究者、高校の教員などボランティアの活動と文部科学省、科学技術振興機構の支援を受けて、国内コンテストを実施して、2005年7月に高校生4名を初めてIBO北京大会に送り出しました。そして初参加ながら銅メダル2個の結果を得ることができました。2006年7月には、アルゼンチン大会に参加し、銅メダル3個の成績を挙げています。

国際科学オリンピックに参加する国は、参加後10年以内に主催国に手を挙げるのが求められています。2006年12月に開催されたIBO運営諮問委員会では、すでに2017年までの開催国が内定している状況でしたが、その席上で、急遽2009年の開催国から辞退の表明があり、わが国に対して、その開催引受けを強く要請されていたものです。

IBO2009の開催にあたっては、広く国民の皆さまからのご支援をお願いするとともに、4月に中学3年生、高校1年生になる生徒の皆さんには、ぜひIBO2009を目標と定めて果敢にチャレンジしていただくことを期待しています。

以上

本件に関するお問合せ先

日本科学技術振興財団 振興事業部 中島、遠藤  
(東京都千代田区北の丸公園2-1 科学技術館)  
電話: 03 - 3212 - 8518